

学校だより 芝っ子

令和6年7月23日
松本市立芝沢小学校



「自分から〇〇する」をがんばりました～学期終業式校長講話より抜粋～

今日は、『自分から〇〇する』をがんばり、心も体も成長しました」というお話をします。
皆さんの1学期を少し振り返ってみましょう。

1学期に全校でがんばったことの一つに、運動会があります。今年度も全校が校庭に揃って、運動会ができました。また、応援団・係活動も充実しました。どの学年のかけっこや短距離走、競技や表現も、それまでの練習の成果を出し切り、素晴らしい運動会でした。選抜リレーの皆さんも最後までくじけず走り切り、感動を私たちに与えてくれました。全校の皆さんが、力いっぱいやろうとする気持ちが伝わってきて、素敵な運動会になりました。



その他には、今年度より、水の学習を「SAM 石芝」という民間施設を利用して行うようになりました。私もたまに皆さんと一緒にマイクロバスに乗って、授業の様子を見せてもらいに出かけましたが、どの学年も楽しそうに、そして真剣に水の学習を行っていました。プールの約束を守ってみんなが気をつけ、大きな事故や怪我がなくできたことが素晴らしいです。先生やコーチの指導や助言で、水と仲良しになり、泳ぎも上達し、体も鍛えられたことと思います。よい学習が進められました。

各学年の活動についても振り返ってみましょう。 ～略～

どの学年も、校内や校外で意欲的に「自分から」学習や生活に取り組む皆さんの姿がたくさん見られた1学期でした。

さて、今年の夏休みには、スポーツの祭典、オリンピックとパラリンピックが開催されます。パリオリンピックで私が注目している選手がいます。それは、水泳の池江璃花子選手です。彼女は、高校まで数々の記録を打ち立て、世界選手権や東京の前のリオオリンピックにも出場する活躍ぶりでした。しかし、高校卒業を間近にした2019年1月、オーストラリアでの水泳合宿で体調不良を訴え、診察の結果、「血液の癌」とも言われる白血病が見つかり入院生活をするようになったのです。その後、今回のパリオリンピックの出場を目標に、練習を積み重ね、何と594日ぶりに水泳大会に出場できました。その結果は優勝でなく、5位でしたが、徐々に自分で決めた目標タイムを達成し、復帰を果たしたのです。そして、今年3月に行われた日本代表選考会 女子100m バタフライにおいて、57秒30のタイムで2着に入り、オリンピック代表を決めました。彼女が復帰した際に、「努力は必ずしも報われるものではない。だけどその努力が報われるまで努力し続ける」とインタビューで答えました。その強い意志の力はどこから来るのだろうと思います。代表になったとはいえ、世界レベルでの争いは厳しく、メダルは取れるかどうかわかりませんが、私は彼女を応援したいと思います。皆さんも、池江選手のような日本選手をはじめ、世界各国の選手の皆さんの活躍を期待し、スポーツの良さを感じてください。



そして、この夏には、芝沢小学校の代表として、練習の成果を発表する場があります。

一つは金管部です。8月3日の長野県小学生バンドフェスティバルです。本校代表として、胸を張って元気に演奏・行進してきてください。

一つは、6年2組岩垂磨櫻さんが長野県の代表として、「コンバインドB」と言う種目で、9月21日～23日にかけて東京都の国立競技場で行われる全日本ジュニア陸上大会に出場します。精一杯頑張って自己ベストの記録が出せることに期待しています。

さて、明日から楽しい夏休みに入ります。この休みに皆さんにたくさん素敵な思い出を作ってもらうために、今年度も昨年度と同じくらいの期間で、とても長く、33日間（なんと1カ月以上）のお休みです。通知票も昨年度から前期後期の2期制となり、担任の先生から皆さんのお家の人に渡すのが10月の懇談会になります。皆さんは、長い夏休み、1学期の反省を十分して、それを踏まえしっかりと計画を立てて、充実した休みにしてほしいと思います。さらに、2学期のめあてを決められるといいですね。